

農林水産部

海外マーケットセミナー

シンガポール、上海、香港で展開するバイヤーを迎え、「沖縄の地の利を生かした農水産物・食品の海外輸出を考える」をテーマにパネルディスカッションを行いました。バイヤーからは次のような発言がありました。

- ・アジア全体から見た日本は極東に位置。その中で沖縄はアジアに対して玄関口。那覇空港の貨物ハブ基地を有効に活用し輸出に取り組んでほしい。
- ・日本のメーカーが現地で生産する「MADE BY JAPAN」は、価格が安くなる傾向にあるが、日本から輸出する「MADE IN JAPAN」は 高くても売れるケースがあるのでチャンスはある。
- ・商品を本気で売り込む気なら、必ず生産者自ら現地で販売して、現地の反応を肌で感じてほしい。

○コーディネーター:アジアネット代表 田中 豊 氏

○パネラー: ISETAN(SINGAPORE)LIMITED 牧野 俊夫 氏 /

City Super Shanghai Ltd 矢野 貴己 氏 味珍味(香港)有限公司 デニス ウー 氏



コーディネーターの田中氏



パネラーの牧野氏、矢野氏、ウー氏

展示・商談会と輸出産品発掘会

展示・商談会では、世界各都市に販路を持つ国内外のバイヤーと県内出品者との商談の場を提供しました。輸出産品発掘会では、出品者が自社商品を説明するとともに、バイヤーに試食いただき、輸出産品としての可能性についてアドバイスいただきました。

○参加バイヤー

香港、台湾、上海、シンガポール、韓国、欧米等に展開する国内外のバイヤー10社

○県内出品者

生鮮野菜・果実、畜産品、水産品、加工食品等の農林漁業者、食品事業者等 19社



バイヤーとの商談に臨む県内事業者



多くの事業者に出品いただきました

農林水産省、沖縄総合事務局では今後とも農林水産物・食品の輸出促進の取組を行ってまいります。

農林水産物・食品の輸出促進に関する情報についてはこちらをご覧ください。

農林水産省URL

<http://www.maff.go.jp/j/export/index.html>

沖縄総合事務局URL

http://ogb.go.jp/nousui/nousui_yushutu.html



Point

政府では、農林水産物・食品の輸出額を平成29年までに1兆円水準とする目標を達成するため、様々な施策を講じているところです。この取組の一環として、沖縄総合事務局、沖縄地域農林水産物等輸出促進協議会は、2月7日に那覇市内のホテルにおいて「輸出オリエンテーションの会」を開催しました。本会は、国内外のバイヤーを招へいし、県内の農林漁業者、食品事業者等を対象に、海外マーケットセミナー、展示・商談会、試食会を一体的に実施するもので、沖縄での開催は今回で3回目となりました。

平成22年度「農林水産物・食品輸出オリエンテーションの会」を開催しました

